

令和5年度 特別養護老人ホーム梨花の里事業報告書

1. 運営方針について

新型コロナウイルス感染症の扱いが5類となったが、高齢者施設ということで感染症対策・面会制限は継続した。そのような中であつたが、コロナ前の日常に近づけるために、アクリル板越し面会を通年実施、入居者の状況に応じた都度の直接面会（看取り期、急激な体調変化時）といった家族、知人との交流の時間を徐々に増やした。新規採用介護職員に対して1年間施設全体で就業のサポートを行い、併せて他の職員個々の業務内容の見直しをすることにより、介護・医療・食事提供面での質の向上が図られ、入居者一人ひとりの満足できる生活支援に繋がった。

2. 事業目標評価について

3カ年目標の最終年として、『感染症対策の強化』『災害を想定した業務継続の取り組み』『デジタル化による業務効率化』及び、『科学的介護の推進』について積極的に進め、自立支援・重度化防止に努め、質の高いサービスの実現を図った。

(1) 生活援助係（介護）の評価

IOT機器（「眠りスキャン」）から得られるデータについて、特に夜間眠りの状態を見て排泄介助に入ることが職員間で定着したので、安眠と清潔保持が両立できた。外見上では変化が把握できなくてもデータに現れ、体調の異変に気づけ、受診を行うなど、入院に至る前に早期に対応できた。効果はヒヤリハットにも現れ、件数は昨年より13件減となり転倒などの事故防止に繋がった。また、施設での看取りをおこなったが、その際にデータで体調変化を見て家族への連絡が行うことができ、看取り時の家族の最期の付き添い、お見送りに繋がった。ICT機器（記録ソフト「ほのぼの」）から抽出したデータを職種間会議において活用し入居者支援に多職種共同で行えたことで、入院先から看取りとして帰所された方が9カ月間過ごされたことは、ご家族も大変驚かれ、また感謝の言葉をいただいた。

(2) 生活援助係（医務室）の評価

体調に変化がみられた時は、家族との連絡を密にし、主治医との連絡窓口として早期に適切な受診や入院依頼へと繋がった。5類に落ちた新型コロナウイルス感染症ではあつたが、地域では感染者が依然多く、面会制限や感染対策を継続指導した。施設内で2回新型コロナウイルス陽性者が発生したが少人数の罹患に抑えることができた。施設での看取りを5名行ったが、感染症に罹患することはなく、居室内での家族との時間を設け、最期まで心安らかな医療・介護支援ができた。

(3) 給食調理係の評価

栄養士は季節感のある献立の作成、味付けは調理員がそれを基に楽しく・美味しい食事になるように丁寧に調理し提供した。入居者の禁食（膵臓食やカリウム制限等）や（小麦）アレルギー対応食を入院先の病院や施設関係者、家族と共有し、配膳ミスなく適切に提供でき、入居者からは「いつもおいしいね」との言葉を幾度もいただいた。感染症・災害時を想定したシュミレーション食事提供を引き続き行っていったが、施設内でのコロナ・インフルエンザの感染症発生・警戒対応時にそのことが生き、戸惑うことなく入居者へ食事提供できたことは特に良かった。

(4) 生活援助係（介護支援専門員）の評価

昨年度に引き続き、入居者、ご家族の思いを大切にして各職種と連携を図り、ケアプランの立案に努めた。今年度は特に、入居者・家族の意向はもとより、各担当職員がそれぞれ持っている入居者への思いをプラン内に1つ入れ込むことに注力し、満足度を高めるプランにこだわり、そして確実な実施へと繋げた。

(5) 生活援助係（機能訓練指導員）の評価

入居者個々の身体状況を丁寧に評価し、それぞれに合ったプランを再構築することに注力した。それは、楽しみ・やりがいのあるプログラムとし、実際のリハビリ指導や介護職員が行う生活訓練への指導へ生かした。使用する福祉用具や機器について、適切なものの導入を行い入居者や介護職員から「楽になった」との声が上がり、負担軽減が図れた。

(6) 生活相談員の評価

リスクマネジメントを意識し、事前予防策の構築、問題発生時の早期対応、その後のケアサポートに精力的に取り組んだ。その結果大きなトラブルはなかった。コロナ禍でのショートステイについて、町内及び他町からの緊急的なショートステイも家族やケアマネから正確な事前情報を取得し、予防に努めながら積極的に受け入れ、地域福祉の一助となるように努めた。3年毎の介護報酬改定に向けての制度改正、新加算等への対応の準備も適切に行えた。

(7) 総務係の評価

外来者対応の窓口として、1日2回の建物1階部分の消毒作業、施設への入室については検温や問診票による健康チェックの実施と、徹底した管理により新型コロナウイルス感染症感染対策に努めた。また、面会は引き続きアクリル板越しにより施設内1階にて実施、延べ839人（昨年度比170%増）が来所された。施設備品の更新について空調設備といった大型なものがあつたが迅速に交換し、新規の購入も含め適切な予算執行、利益確保に努めた。年次有給休暇、時間外労働管理として、3か月に1度集計し、安全衛生委員会と共同して労務管理を徹底し、特に介護職員は年間平均20日の有給休暇取得を達成した。

全職員共通

(1) 労働環境の充実

職場環境について、安全衛生管理者が毎月の職場アセスメントやリスク回避のための方策を各部署と考え、適時産業医から助言をもらいながら、実施の先頭に立ち行動していくことで職員が安全に就業できた。また、介護用品として移乗ボードを増台し多くの入居者の介助に使用できるようになり、併せて介護方法の見直しも行ったことで抱えない介護を実践でき、職員の負担軽減に繋がった。

(2) 人材育成・技術向上

外部研修は、研修会場へ出張して行うものと、施設内にての Web セミナーを活用し、内部での研修は、感染症対策や高齢者虐待防止法の理解等介護保険法に定められた研修を確実にを行い、職員に周知した。特に、「AED・心肺蘇生法・異物除去研修」を下関市豊浦西消防署豊北出張所員を招き職員会議で実施したことで、急変時の対応についての知識と自信が付きモチベーションが向上した。

日中、夜間共その日のフロア（全体）リーダーを中心として年度当初と比較し意識的な業務遂行、職員間連携ができた。一方で職員個々の業務遂行・完了能力について依然差があるため、これは来年度の課題として残った。入居者の排泄介助について、外部講師を招聘した実践的な研修を複数回行ったが、まだ、職員個々で差がみられるが、排泄介護が平均化でき入居者の満足度に繋がった。

BCP（業務継続計画）を意識したシュミレーション実施を引き続き通年行い、感染警戒時や蔓延防止時に大いに役立ち、最小限の広がりには抑えることができた。

(3) 地域貢献活動

地域へ開放している施設中庭芝生広場は、豊北こども園児が遊びの場として訪れたり、地域住民がこども食堂の会場として使用した。その様子を入居者と職員が見学することもあり、間接的に交流が図れた。

下関市の委託事業「多様な人材の介護職参入促進業務」として『介護の仕事入門講座』を11月11、15日の2日間開催し、市内各地から10代～60代の介護経験者・未経験者計12人の参加があった。介護に関する基礎知識をはじめ、最新の車椅子、吊り下げリフトや移乗ボードなどの腰痛予防の機器を使用した研修を行い、参加者からは「このような機器があれば楽に介護できることが分かり、何か福祉でお役に立ちたい。とても参考になった」などとの感想があった。

新卒者の獲得として、毎年の高校への訪問や福祉学校等への施設情報の発信の成果もあり、福祉専門学校、高等学校から計3名採用でき、また、来年度は大学卒者1名の就職が内定している。

3. 職員の状況

職員数と令和5年度中における異動

職種	区分	現員 (人) R5. 4. 1	令和5年度中における異動				現員 (人) R6. 4. 1
			退職者 (人)	採用者 (人)	異動出 (人)	異動入 (人)	
正職員	施設長	1			1	1	1
	事務職員	3	1	1			3
	生活相談員	1					1
	看護職員	4					4
	機能訓練指導員	1					1
	介護職員	25	2	1			24
	介護支援専門員	(4)					(4)
	栄養士	2					2
	調理員兼務介護職員	3					3
常勤職員	介護職員	8		1			9
	栄養士	0		1			1
	調理員兼介護職員	3					3
非常勤職員	事務職員	2					2
	看護職員	1					1
	介護職員	2		1			3
	介護支援専門員	(1)					(1)
	調理員兼務介護職員	1		1			2
	介護補助員	2					2
	宿日直員	3					3
	嘱託医師	1					1
	合計	(5) 63	3	6	1	1	(5) 66

() の数字は他職種との兼務を示す

4. 入居者の状況

本入所の状況（令和6年3月31日現在）

地域別	男性(人)	女性(人)	計(人)	令和5年度の入退所者		
				入所(人)	退所(人)	差異(人)
豊北町	6	47	53	14	11	3
豊浦町	1	1	2	0	0	△1
豊田町	1	3	4	1	1	0
その他	0	0	0	0	0	0
合 計	8	5	59	15	12	3

年齢別	男性(人)	女性(人)	計(人)	割合(%)	最高年齢 男 93歳 女 103歳 最少年齢 男 65歳 女 80歳 性別平均年齢 男 85.0歳 女 90.3歳 平均年齢 89.5歳
～70歳	1	0	1	1.7	
71～80歳	1	2	3	5.1	
81～90歳	4	26	30	50.8	
91～100歳	2	22	24	40.7	
101歳～	0	1	1	1.7	
合 計	8	51	59	100.0	

区 分		男性(人)	女性(人)	計(人)	割合(%)
食 事	自 立	4	13	17	28.8
	一部介助	2	23	25	42.4
	全面介助	2	15	17	28.8
排 泄	自 立	0	0	0	0.0
	一部介助	6	39	45	76.3
	全面介助	2	12	14	23.7
入 浴	一 般 浴	0	10	10	16.9
	特 殊 浴	8	41	49	83.1

5. 実績

(1) 特養（定員 60 名）

延べ人数（日数×人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	実績	1,678	1,687	1,638	1,759	1,812	1,751	1,747	1,698	1,743	1,645	1,621	1,743	20,522
	利用率	93.2	90.6	91.0	94.2	97.4	97.2	93.9	94.3	93.7	88.4	93.1	94.0	93.4
令和4年度	実績	1,679	1,821	1,708	1,753	1,763	1,697	1,716	1,693	1,696	1,612	1,471	1,718	20,327
	利用率	93.2	97.9	94.9	94.2	94.8	94.2	92.2	94.0	91.1	86.6	87.5	92.3	92.8

退所者・・・12名（男性3名、女性9名）。

施設看取り5名。入院先で死去2名。長期入院による申出退所5名。

年間平均要介護度・・・3.7。

年間特養入所者状況・・・入院者は増加したが、退所から次の新規入所までの期間が短縮できたことで昨年度より利用率がアップした。

(2) 短期入所・介護予防短期入所（空床利用型）

延べ人数（日数×人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	実績	77	91	68	33	36	0	8	0	32	43	73	52	513
	利用率	4.3	4.9	3.7	1.8	1.9	0.0	0.4	0.0	1.7	2.3	4.2	2.8	2.3
令和4年度	実績	38	35	62	62	69	67	62	39	9	40	83	84	650
	利用率	2.1	1.8	3.4	3.3	3.7	3.7	3.3	2.1	0.5	2.1	5.0	4.5	2.9

年間利用者状況・・・要支援認定者の利用4名。（昨年度は1名）

要介護認定者の内、30日を超えるロングショート利用4名。

内訳として、次の施設が決まるまでの方2名、緊急で受入れを行い、身体状況の改善後在宅に復帰した方1名、本入所となった方1名。

(3) 合計利用率 (1) + (2)

延べ人数 (日数×人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	実績	1,755	1,778	1,706	1,792	1,848	1,751	1,755	1,698	1,775	1,688	1,694	1,795	21,035
	利用率	97.5	95.5	94.7	96.3	99.3	97.2	94.3	94.3	95.4	90.7	97.3	96.5	95.7

6. 研修の状況

研 修 名	日 付	施 設 長	事 務 職 員	生 活 相 談 員	看 護 職 員	介 護 職 員	介 護 支 援 専 門 員	機 能 訓 練 指 導 員	栄 養 士	調 理 員 兼 介 護 職 員
令和5年度 老人福祉施設基礎コース (新任職員研修)	5/11					3				
令和5年度 福祉施設給食担当職員研修	6/16								2	
令和5年度 老人福祉施設アドバンスコース (中堅職員研修)	6/19					1				
令和5年度社会福祉法人会計研修会	6/28		1							
第51回 (令和5年度) 山口県老人福祉施設相互研修会	6/27			1	1	5	1	1	1	
令和5年度 山口県老人福祉施設運営研修会	7/4	1								
令和5年度 老人福祉施設レクリエーション研修	7/6							1		
令和5年度 福祉施設給食担当職員研修	7/13									2
認知症介護実践リーダー研修 7/27、8/7、8/17、8/25、9/4、9/26、10/20	—					1				
山口県栄養士会福祉事業推進委員会研修会 (Zoom)	7/30、 10/14								2	
メンター制度導入による介護人材の育成と雇用定着を目指して (Zoom)	7/31					1				
第5回 豊かなまちづくりセミナー	8/10				1	2				
認知症介護実践者研修 9/11、9/12、9/28、10/2、10/18、11/29、	—					1				
メンタルヘルス～メンタルヘルスケアと復職支援～	10/3				1	1				

7. その他

(1)年間の主な会議の実施結果

会議名	内 容	開 催 日	出 席 者
運 営 会 議	施設の経営状況の確認	毎月(アスピーア合同)	施設長、生活課長、各部署代表、ヘルパー責任者
安全衛生委員会	労働中の危険及び健康障害の防止等を検討	毎月	
職 員 会 議 施 設 内 研 修	事務連絡等 各種研修会	4, 6, 7, 9, 10, 12, 3 月	全職員
リ ー ダ ー 会 議	介護に関わる連絡確認 施設行事を確認	毎月	施設長、生活課長、各部署代表、ユニットリーダー
サービス担当者会議	入居者のケアプランを決定	毎月	介護支援専門員、ユニット職員、各職種代表
入所検討委員会	入所待機者名簿を作成する	6, 9, 12, 3 月	施設長、各職種代表、第三者委員
苦情解決委員会	苦情に関する事例報告	3 月	第三者委員、理事長、施設長、生活課長、法人内の各施設の生活相談員
Section meeting	入居者の状況確認ケア内容を決定	2 階 10 回 3 階 10 回 4 階 13 回 医務 2 回 調理 11 回 総務 1 回	各部署職員
処遇に関する委員会	感染症対策委員会※	4, 6, 8, 9, 10, 12, 2, 3 月	生活課長、各フロア介護職員、各部署代表
	事故発生防止委員会	5, 9, 12, 3 月	
	身体的拘束等防止・監視委員会	毎月	
	虐待防止委員会	4, 5, 8, 11, 3 月	
	褥瘡対策チーム	5, 7, 9, 10, 11, 1, 3 月	生活課長、リーダー以上、各部署代表
	食事内容の検討会議	6, 9, 12, 3 月	
	質の評価検討会議	5, 11, 2 月	
	口腔内のたんの吸引等安全対策委員会	4, 8, 10, 1 月	

【感染症対策委員会事業評価について】

新型コロナウイルス感染症が法上の5類へ移行したが、終息には至っていないため引き続き感染症対策委員会を中心に下関市内の感染症の発生情報の状況を把握し、感染症予防対策を継続した。入居者・職員と新型コロナウイルス陽性があったが、現状の把握と対策を随時見直しながら施設として一丸となり対応に当たった。結果、最小限の人数・日数で終息できた。食事は直営で提供しているが、予防を徹底しており O157 等の食中毒発生はなかった。

(2) 年間行事実施結果

月	行 事	関連行事等
4	お花見（ドライブ） お花見弁当食事会	山口県議会議員一般選挙不在者投票 衆議院議員補欠選挙不在者投票
5		職員検診（夜勤者のみ）
6	いぎの葉団子作り（おやつ作り） らっきょう漬け作り 映画観賞会 感染症シュミレーション食	新型コロナワクチン予防接種（6回目） 下関市老施協職員ボーリング大会 入所検討委員会
7	鉄板焼食べ放題	害虫駆除
8	盆法要 夏行事（各ユニット）	AED・心肺蘇生法研修
9	敬老会 災害シュミレーション食 食事作り（餃子を入居者と職員で作る）	入所検討委員会
10	運動会	入居者結核検診 ストレスチェック 下関市老人福祉施設交流演芸大会 新型コロナワクチン予防接種（7回目）
11	食事作り（どら焼きを入居者と職員で作る） 秋の味覚祭 ほうほく文化祭	インフルエンザ予防接種 職員検診（全職員） 害虫駆除
12	感染症シュミレーション食 忘年会 クリスマス会（ユニット毎） もちつき	入所検討委員会
1	元旦行事 初詣 正月遊び会 食事作り（コロッケを入居者と職員で作る）	
2	節分会 デザートバイキング	
3	ひな祭り お茶会 災害シュミレーション食 食事作り（4色おはぎを入居者と職員で作る） 彼岸法要 入所者・職員懇談会（各ユニット）	入所検討委員会 苦情解決第三者委員会 日中・夜間・災害想定避難訓練
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・美容の日（第2月曜日）・誕生日会（毎月）・ドライブ（随時）・喫茶（第3水曜日） ・アクリル板越面会（通年） 	

(3) 給食の状況

区 分		エネルギー (Kcal)	材料費 (給食1日単価)	
1日当たりの 平均栄養量 及び給食単価	令和5年度実績	1,418 kcal	経口	822 円
		839 kcal	経管	1,064 円
	令和4年度実績	1,434 kcal	経口	810 円
		833 kcal	経管	1,027 円

(4) 主な帳簿

種 別	記 録 事 項
介護日誌	介護に関わる記録
施設サービス計画書	入居者一人ひとりのケア計画
個人ケース	入居者の日々の記録
看護日誌	看護に関わる記録
機能訓練日誌	機能訓練に関わる記録
出勤簿	出勤時、押印するもの
出張命令簿	出張の際管理者に届け出るもの
新型コロナに係る体温・体調記録簿	午前の検温、勤務時の体調把握